

ルニア州にある既存の工場の工場から輸出。インド市場は急見込めるため、現に移行する。イン検査機器や試薬のげは五年後に十二五億円を目指す。ではそれぞれ四月能力を増強した。は五百万円(約七カ円)を投じて工業し、年産約四千万増やした。欧州で計数分野の二〇〇の売上高は検査機を合わせて約二億円。日本での売日四十六億円)を

民間調査会社の富士経を公表した。鼻炎治療薬果や花粉の飛散が例年より早かったことが規模拡大につなると見ている。催眠鎮静剤市場は五

片医用品の成長を期待し、注視すると見ている。めたと発表した。かかとの骨に超音波をあてて、二十秒で骨量を測る。一

アンジェスMG 開発中の薬

希少疾病薬に指定

審査的 承認優先 承優

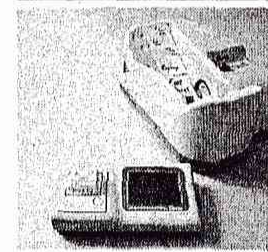
遺伝子医薬品開発のアンジェスMGは七日、開発中の難病治療薬が厚生労働省の希少疾病用医薬品指定を受けたと発表された。優先的な承認審査が受けられ、開発を促進して

アンジェスは今夏「ムコ多糖症VI型」の治療薬「ムコ体内に有害物質が蓄積し

「ムコ多糖症VI型」は

期に厚労省からの販売承認取得を目指す。

治療には骨髄移植もあるが患者への負担が大きい。国内患者数が数人の難病なので、欧米での臨床試験データを活用し早期に厚労省からの販売承認取得を目指す。



日本光電は七日、石川製作所製の超音波骨量測定装置「ビーナスアルファ」II写真IIの販売を始めた。測定時に足をのせる測定器と測定結果を表示・印刷する装置で構成する。日本光電は従来、松下電器産業の骨密度測定器を販売していたが、表示装置が小型で狭い場所にも置きやすい石川製作所の製品に切り替えた。三十九歳までの幅広い年齢層の骨量を測れるほか、パソコンとの接続が可能で簡単にデータを管理できるといふ。

じき、治療時の患のを緩和できると

住宅リフォームの米商(堺市、永野克巳社長)は入浴用「イーフロ」II写真IIを発売した。高齢者が入浴中に浴槽内

イーフロは入浴時に太ももの下に当てる座部、座部に付いた吸盤シートから成る。浴槽の底に敷き、シートの裏の吸

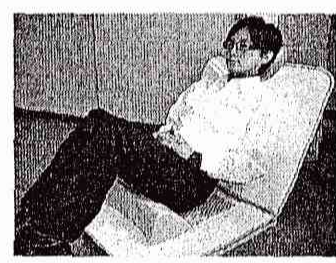
盤で固定する。シートの上には突起があり、この上に腰掛ける。座部はポリプロピレン、吸盤シートにはエチレン系エラストマーを使用しており、耐熱性と肌触りに配慮した。座部の高さは約十一センチ、座部と吸盤シートは長さ四十一センチ、幅が約三十八センチ。希望小売価格は二万二千二百六十円。

を登録した。福祉用具としての認定をテクノエイド協会(東京・新宿)に申請中。中国と米国では特許を申請した。住宅リフォーム先で高齢者が入浴中におぼれる事故が多いのを聞き、〇四年に開発に着手。中小企業基盤整備機構の助成を受けて事業化した。同社で組み立て、月一千台を出荷できる体制を整える。(堺)

米商

で滑りおぼれる事故が多いのに注目、浴槽で滑らないように太ももの下に敷いて使う。介護施設のほか半身浴向けにも利用できるとしている。

高齢者のおぼれ事故防止 浴槽で滑らないイス



介護・半身浴向けに販売

二〇〇六年に実用新案

厚労省から優先審査指定 サノフィ 仏系製薬サノフィ・アベンティス(東京・新宿、フィリップ・フォシエ社長)は七日、前立腺がんの適応追加を申請中の治療薬「タキソテール」が厚生労働省から優先審査品目に指定されたと発表した。従来の前立腺がん薬と作用する仕組みが異なり、従来の前立腺がん

か凍結指示

米売「国」己内尋ナナザ

れない③したがって日本一人で事業所開設を申請し、譲渡は凍結すべきである。〇八年四月以降の受

は幅七十四センチ、高さ七十四センチ、奥行三十三センチと従来品より小型。設置面積は〇・二七平方